

青少年夢と創造へのアイデアコンテストの記録

このコンテストは、山形に住む若者から山形を元気にするアイデアを募集し、優れたアイデアに対して実行資金を助成することにより、若者の社会参加や自主性を育むことを目的に開催しています。

8回目となる今回も、山形を元気にする、若者らしい、たくさんのアイデアが寄せられました。

実施の概要

1. 募集内容

実際に実行（成果品を製作・行事等を開催）することを前提としたアイデアで、次の内容のものとなりました。

- ① 山形県または地域を元気にする物づくり・イベント・システムづくりのアイデア
- ② 若者の地域定着の視点にたった物づくり・イベント・システムづくりのアイデア
- ③ 国際交流や国際的な視野にたった物づくり・イベント・システムづくりのアイデア

2. 応募資格

県内に住んでいる高校生以上30歳未満の青少年3名以上で構成されるグループ・団体。

3. 応募結果

12の青少年グループからアイデアが寄せられました。

〈受付順〉

グループ・団体名	アイデアの名称
置賜農業高等学校 食育人形劇グループ「しやるむ」	手作り人形劇による食育活動への取り組み
HOPE	南陽宣隊アルカディオオン
米工ゼロエミッショングループ	風力・太陽光発電を利用した非常用電源設備を備えた電気自動車用車庫
山形若者ダベリ場マップ編集部	ヤマガタ若者ダベリ場マップ
ココア	On楽で癒す…!? エンターテイメント大作戦in山形
鶴岡中央高等学校	TSURUOKA CHUO SILK PROJECT
チームツナミ	生命(いのち)と食を結ぶ演劇ボランティア
山形ガールズ農場	山形ガールズ農場収穫ツアー
米沢工業高等学校 専攻科	米沢産業(温故知新)
東根工業高等学校 チームE&S	ソーラー電動リキシャの製作～持続可能な町づくりのために～
酒田北高等学校 生徒会	人生の先輩に感謝 -高齢者との読み聞かせ交流-
山辺ブルーミング	青年農業者と高校生がつくる山辺町づくり

4. 公開プレゼンテーションの開催

平成22年8月3日(火)に山形テルサにおいて、公開プレゼンテーションを開催しました。

応募した青少年グループがアイデアを発表し、「発想の豊かさ」「斬新さ」などを評価のポイントとして審査を行いました。



5. 審査の結果

審査の結果、「置賜農業高等学校食育人形劇グループ「しやるむ」」、「HOPE」、「山形ガールズ農場」の3グループのアイデアを認定し、30万円を上限として実行資金を提供しました。



手作り人形劇による食育活動への取り組み

食育人形劇グループ「しゃるむ」 (川西町)
(山形県立置賜農業高等学校)

取り組みの概要

正しい食生活の習慣は、健康な体をつくるためにも、幼い頃から身につけることが大切です。そこで、子ども達に好き嫌いなく食べることや決まった時間に食べること、お菓子を食べ過ぎないことなどをオリジナルの手作り人形劇をとおして、わかりやすく伝えることにしました。

企画した人形劇は、時間を短くしたり、身近な野菜の人形を使うなど工夫することで、子ども達の興味を引き、小さな子どもでも集中して聞くことができました。また、親子を対象にした人形劇を開催し、大人にとっても改めて食の大切さを考える機会となりました。

人形劇の後は、好きな野菜の人形を手作りするワークショップを開催し、子ども達と会話しながら食の大切さを伝えることができました。



手作りの人形たち

実施結果

- とき 平成22年8月5日 (木)
- ところ 置賜農業高校 蓮田寮
- 内容 「えきまちネットこまつ」主催の「まちむら交流」イベントとタイアップした人形劇を行った。

- とき 平成22年9月26日 (日)
- ところ 米沢卸売団地 野外テント
- 内容 「第8回米沢卸売団地まつり」イベントにおいて、5回の人形劇を行った。

- とき 平成22年10月24日 (日)
- ところ 浜田広介記念館 大ホール
- 内容 休日のイベントとして人形劇を2回行い、野菜人形作りのワークショップも開催した。

- とき 平成22年10月27日 (水)
- ところ こども芸術大学 ホール
- 内容 母と子のための食育イベントとして人形劇を行い、野菜人形作りのワークショップも開催した。



9月26日公演の様子



野菜人形作りのワークショップ

これからの取り組み

今後も人形劇と野菜人形の手作りワークショップを継続しながら、新たに「食育かるた」を作成し、幼稚園や保育園などでのワークショップに活用していきたいと考えています。



南陽宣隊 アルカディオン

HOPE (南陽市)

取り組みの概要

南陽市に住む20代の若者をメンバーとする「HOPE」は、南陽市の魅力を市内外に発信し元気なまちづくりの原動力となるために、ご当地ヒーロー「南陽宣隊アルカディオン」を結成しました。南陽市のトップセールスマンとして、各種イベントへの参加や独自イベントの開催、PR活動を行っています。

今回は、これまでの“アルカレッド”、“アルカブルー”に加え、待望の“アルカピンク”が加わり、悪役「ウダデゴドン」一味に立ち向かうアルカディオンショー「ドリームランドへおいでよ」を実行しました。

実施結果

「ドリームランドへおいでよ～SMILE MEMORY 2010」

- とき 平成22年10月31日(日)
- ところ 南陽市中央花公園ドリームランド
- 内容 アルカディオンショーでは、初お披露目となるアルカピンクが登場しました。アルカピンクは、悪役「ウダデゴドン」の攻撃でダメージを受けたアルカレッドとアルカブルーに「回復スプレー」をかけて、元気を回復させ、見事、勝利を勝ち取りました。会場からは、「かわいい」「がんばれー」と大歓声が飛び交い、大いに盛り上がりました。

当日は、ジャンケン大会や握手会、記念撮影、オリジナルTシャツの販売を行い、大盛況のうちに終了しました。

市内の幼稚園や小学校にチラシやポスターを配布するなど、事前の周知活動の結果、延べ500人の方が来場しました。



ウダデゴドンとの戦い



「元気回復スプレー」シューッ！



握手会&記念撮影

これからの取り組み

地域の人たちから愛されるご当地ヒーローとして、今後もこうした大イベントを年に1回開催し、子ども達が地域に愛着を持つきっかけになればと考えています。



山形ガールズ農場 収穫ツアー

山形ガールズ農場（村山市）

取り組みの概要

県内外出身の女性たちで野菜や米作りに取り組む「山形ガールズ農場」が、トウモロコシや枝豆などの野菜を収穫する「むらやままるごと収穫体験ツアー」を実施しました。昼食には、収穫したばかりの野菜を使った手作りピザや打ちたてのジャンボ板そばが食べられるランチガーデンを用意し、取れたての野菜のおいしさを伝えました。

農業の後継者が不足する中、新しい取り組みとして期待されている「山形ガールズ農場」のアイデアにより、たくさんの一般参加者を農場に呼び込み、農業への理解を深めることができました。

実施結果

- とき 平成22年8月7日（土）、8日（日）
- 場所 山形ガールズ農場、周辺の畑
- 内容 市内外から約250名が参加し、3班に分かれて、夏野菜の収穫作業を体験しました。珍しい野菜や新鮮な野菜の味を知る機会となり、農業への理解や食育にもつながりました。

参加者からは「いろいろな種類の野菜がたくさんあって、面白かった。また参加したい。」との話がありました。



ガールズが畑を案内

これからの取り組み

収穫体験ツアーを夏の恒例行事として定着させ、村山市の農業を盛り上げたいと考えています。



石釜ピザを手作り



トウモロコシを収穫



ジャンボ板そば